

1	会議名	令和7年度 第2回総合教育会議 会議録
2	開催日時	令和8年2月18日(水) 午前10時00分～午前11時35分
3	開催場所	3階 31・32 会議室
4	出席者	市長：福田 良彦 教育長：守山 敏晴 教育長職務代理者：村尾 利勝 教育委員：渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子
5	欠席者	なし
6	説明のため出席した者	教育次長：賀屋 和夫 学校教育課長：五郎丸 哲也、主幹：松本 哲也、井原 哲典 青少年課長(教育センター所長)：植田 明男 生涯学習課長(中央公民館長)：河本 葉子 中央図書館長：藤中 朗子、科学センター館長：大黒屋 誠 福祉政策課長：石井 寿浩 都市拠点整備課長：土井 崇嗣、黒磯地区整備班長：池之 宏暢 教育政策課 英語教育推進室長：藤本 佐祐里、施設班長：櫻田 和宏
7	事務局	教育政策課長：村重 武志 政策班長：山本 祥寛、政策班：廣本 菜穂美 政策企画課長：田中 雅彦
8	協議事項	(1) 市長部局と教育委員会が連携して行う取組について ～いこいと学びの交流テラス整備事業について～ (2) 「岩国市 学校における働き方改革実施計画」について (3) その他
教育政策課長		・定刻になりましたので、令和7年度第2回岩国市総合教育会議を開催します。なお、本日の会議の終了予定時間は午前11時30分としておりますので、よろしくお願いいたします。
市長		それでは、開催に当たりまして、福田市長に御挨拶を申し上げます。 ・皆さん、おはようございます。本日は令和7年度第2回岩国市総合教育会議に御出席いただき誠にありがとうございます。この会議は平成27年5月に1回目を開催しており、今回で22回目となります。本日は、いこいと学びの交流テラス整備事業について説明をさせていただくほか、岩国市における学校の働き方の実施計画についても議題としており、皆さんの忌憚のない御意見を頂戴できればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
教育政策課長		・それでは、議事進行につきましては、岩国市総合教育会議運営要綱第4条第3項の規定により市長にお願いいたします。

市長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、お手元に配布しております次第に沿って、協議を進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 ・議題1「市長部局と教育委員会が連携して行う取組について ～いこいと学びの交流テラス整備事業について～」説明をお願いします。
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・岩国医療センター跡地に整備を進めております「いこいと学びの交流テラス」について御説明します。本日は施設整備を進めております都市拠点整備課、また、福祉機能を所管する福祉政策課にも出席いただいております、科学学習を行う科学センター機能も含めて順番に御説明させていただきます。まず、都市拠点整備課からお願いします。
都市拠点整備課長	<p><いこいと学びの交流テラス整備事業について、経緯と目的、計画策定から整備までの流れなどについて説明></p>
福祉政策課長	<p><福祉機能について説明></p>
科学センター館長	<p><科学センター機能について説明></p>
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、これまでの説明に御意見・御質問がございましたらお願いします。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・科学センターにお尋ねします。先日、講座室や準備室を見学させていただきましたが、素晴らしい環境の中で子供たちが実験や授業を受ける様子がイメージでき、楽しみに感じました。科学センターの学校連携事業での取組の中で、小学4年生と中学1年生について、年間通して全ての学校で授業が入っているとの説明でしたが、授業内容については、教育課程に基づいたものですか。
科学センター館長	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、授業の科目を設定するにあたって、全学校にアンケートを取りました。小学校に関しては、宇宙に関すること、中学校に関しては、1年生で初めて顕微鏡を触るので、そういった内容の授業をしてもらえないかと要望がありましたので、必修授業についてはその2つを設定しており、学校のカリキュラムに沿ったものになっています。また、選択授業についても、元教員の職員が教科書を見ながら考えており、こちらも授業内容に沿ったもので準備しています。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルを使ったロケットや電流を流して体感できるような装置、岩石など、子供たちの興味や関心を引き起こすいろいろな取組をされるとと思います。工作室の中に3Dプリンターが5台くらいありました。非常に高価で今まであまり扱われていませんでしたが、どのような活用方法を考えておられますか。
科学センター館長	<ul style="list-style-type: none"> ・CADを学んで3Dプリンターに移す、いわゆるプログラミングに近いものを考えています。職員もCADについて学びながら、先ほど申

<p>岡田委員</p>	<p>し上げましたが、ふらっと来られた方が何か作って持ち帰ることができるような活用ができればと考えています。詳細な内容については職員が研究を進めているところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒磯の用地の活用について、ハード面の整備ではとても細かな配慮をなさってここまでこられたということが今日の説明でよく分かりました。いこいと学びの交流テラスはすごく素敵なネーミングですが、「交流」というコンセプトがどこにあるのかお聞きしたいと思います。ソフト面のコンセプトがしっかりしていないと、そのうち、閑古鳥が鳴く可能性が非常にあると感じます。全国にもそのような複合施設がたくさんあります。教育と福祉が一緒にある中で、どういうコンセプトでいこいと学びを交流させようとしているのか、また、2つのゾーンをどのような形で練り上げて、みずみずしさを作り上げていくのか、そのあたりをお聞かせください。
<p>福祉政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いこいと学びの交流テラスは、くつろいでいただく場所と学習する場所が合わさったような言葉ですが、今までの複合施設ではなかったような、体育利用や文化利用、市民活動などそれぞれの使い方をしながら、周辺の別の分野のエリアにも自由に往来できるという特徴があり、そうした中での交流の発生を期待しています。一部、米軍基地の方からも施設について問い合わせを受けていますので、外国の方との交流も生まれる可能性があります。老人福祉センター機能など、一側面だけを有した施設ではありませんので、小さな子供から高齢者まで、世代間交流も期待できると考えています。ソフト面での誘導の仕方はこれから検討していくところですが、福祉関係を例に挙げますと、各課のイベントなども今後は複合的に設計していきたいと考えています。オープニングに関しても、そういった部分が垣間見えるようにしたいと考えています。
<p>岡田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面の整備と、ソフト面でのコンセプトをどうするかということについて、どこが統合して、コントロールしていくのがとても大事だと考えます。細かいことを言えば、多目的室にピアノは入るのか、また、小さい子供がおられるご家族が眺望や利用しやすさをメリットに感じて来館されるのであれば、喫茶コーナーを設けるのかなど、リピーターを増やしていく仕組み作りが必要になるかもしれません。この施設に行くと気持ちが良いという子供たちやお年寄りの声が聞こえる、市民の憩いの場になるようなコンセプト、アイデアが今後どんどん出てきたら良いと思います。
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学に参加させていただきましたが、最新の設備や環境が整っており、今日のお話でも様々な方が交流できる仕組みが今からできていくのだと感じられて、とても楽しみになりました。いかにこの施設を市民の方に知っていただくか、利用していただくかということが重要

になってくると思うのですが、それに関連していくつか質問させていただきます。1点目、企業とのタイアップ科学教室などは考えておられますか。2点目、オープニングイベントなどで小・中学生にどのようにPRしていくのか。先ほどマスコットキャラクターの愛称募集についてもお話がありましたが、全小・中学校にどのように案内されたのかお伺いしたいと思います。3点目は、サイエンスライブラリーについてですが、柳井市の図書館に行くと、館内の様々なスペースにちょっとした勉強テーブルがたくさんありました。柳井の小・中学生は図書館に本を読みに行くのではなく、自分の家のように勉強しに行く、というような習慣になってきているそうです。いこいと学びの交流テラスではカウンターに何十人かは座れると思うのですが、他のスペースなど増設は可能ですか。また、実際内覧してみると、アミューズメント広場のような、迷ってしまうような館内でした。眺望が良かったり、ホールがあったり、科学センターのショーも見てみたいと思ったのですが、本当に見どころが満載だったので、科学センターはオリジナルキャラクターもいるということで、サインに活用するなど、館内の案内を分かりやすくしてほしいです。また、岩国市の景観のフィルムについても、二重ガラスの中に表示があったら良いかなとも思いました。橋も「これは何の橋かな?」とったりしたので、説明書きがあっても良いと思います。利用者の方も説明をみてどのような風景かが分かると、多目的室1などではなく、「弥栄大橋の夕焼けの部屋を借りたい」というように、親しみが湧くのではないかと思います。最後に、科学準備室には薬品などもあるのではないかと思います。多くの方が訪れる施設ですので、セキュリティ対策をどのようにされているかについても教えてください。

科学センター館長

・まず、科学センターからお答えします。企業とタイアップした科学教室は、これまでも、三井化学や市内に進出されたゲーム開発会社のゼロディブ、市外では、中国電力、三笠産業など2年前くらいから実施しており、来年度の予定も立てているところです。また、新たに三菱電機の御協力もいただけることとなっており、山口合同ガスの液体窒素のショーも計画しています。他にも、広島文化科学館、蔵前工業会など、学校や企業との連携は今年度と比較して10回程度増やせるよう計画しています。また、課題研究スペースについてですが、科学センターとしては、今のところ自由に利用できる場所はサイエンスライブラリーしか準備できておりません。机はありませんが、階段広場なども自由に使っていただければと考えています。オリジナルキャラクターの名称募集については、市内の小・中学生全員にチラシを配布しました。キャラクターを活用した看板等の設置に関しては、館内のコンセプトで案内表示のデザインが決まっているので、新たに科学セ

<p>渡邊委員 福祉政策課長</p>	<p>ンターだけのキャラクターを追加するということが難しい状況です。科学センターとしては、チラシ等別の方法で積極的に使用していきたいと考えています。最後にセキュリティ面ですが、実験準備室等には薬品の準備をするようになるかもしれませんが、薬品庫も準備室も普段から施錠し、関係者以外出入りできないよう、しっかり管理していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニーは参加者を募集するのですか。 ・3月末に施設が完成することもあり、実物を見ていない児童生徒が大半なので今後検討していきますが、今回のオープニングセレモニーについては募集の予定はありません。フィルムに説明書きをという件ですが、確かに現在、写真の説明はありません。我々も、お話にあったように「橋の部屋」や「蛍の部屋」などの呼び方をされたら良いと思っていましたので、キャプションについては検討してまいります。 ・先ほど、館内を巡って楽しかったというお話をいただきましたが、テラスは2階建ての4層仕立てになっており、エレベーターに乗ると分かりやすいのですが、1階、M1、M2、2階となっていて、なかなか他にはない面白さがある施設だと考えています。セキュリティとしては、館内に防犯カメラは37台設置する予定ですので、犯罪防止や万が一何かが起こったときの追跡に関しては早急に対応できるようになっています。
<p>岡崎委員 科学センター館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私も施設見学をさせていただき、今日の説明もお聞きして、想像以上に素晴らしい建物で、しっかり子供たちにも使ってほしいと思いました。科学センターの学校関連事業ですが、対象学年は毎年同じですか。 ・学年を決めておけば、小・中学校の間に1回ずつ経験でき、よりたくさんの方に知ってもらうことにもつながるので、毎年同じ学年にする予定です。
<p>岡崎委員 科学センター館長 福祉政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間や休館日はどうなっていますか ・科学センターは現在と変わらず、開館時間は9時から17時です。 ・福祉施設側は、9時から22時までです。入浴施設は11時から20時までで、休館日は毎週月曜日で科学センターも同様です。月曜日が祝日の場合は次の平日が休みとなりますので、連休中は開館します。入浴施設は月曜日と木曜日がお休みです。駐車場は22時に施錠する予定です。
<p>岡崎委員 福祉政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の自家発電について72時間対応と説明がありましたが、どのエリアが該当しますか。 ・インフラが復旧するまでの72時間を想定しておりますが、約半分のエリアで稼働できるようになっております。
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の施設では、遊具がほとんど見当たりません。安全確保が第一優先ということで、回転遊具等はなく、ブランコもほとんどないのでは

	<p>ないかと思ひます。今回素晴らしい設備ができて、小・中学生も授業の一環で来ることになりますから、屋外のインクルーシブ遊具、科学遊具も体験できるように学校側にPRしてほしいです。800メートルのウォーキングゾーンにフジバカマを植えるということですが、アサギマダラが来たら良いですね。ビオトープも、子供たちは池などを見る機会はほとんどないと思ひますので、子供たちが自然に親しむ環境づくりの中で、学びを与えられるようにしっかり学校側にもPRをお願いしたいと思ひます。</p>
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、議題2「岩国市 学校における働き方改革実施計画」について、説明をお願いします。
学校教育課主幹	<p><「岩国市 学校における働き方改革実施計画」について説明></p>
市長 村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明に、御意見・御質問がございましたらお願いします。 ・教職員の健康・福祉確保の取組の説明がありましたが、1か月あたり80時間以上の時間外勤務があった場合に、疲労の蓄積が認められる者には医師の面接指導を行うということですが、今、80時間を超えている教職員はいますか。
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・80時間を超える教職員は、小・中学校ともにおりますが、岩国市で今までに面接指導を受けた者はおりません。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・80時間を超える教員について、時間外がなぜ80時間を超えているのかという分析も必要だと思います。働き方の意識改革ができるよう指導を厳しくやっていかなければ、最終的には医師による面談につながっていきますので、そのあたりは教育委員会事務局からも十分指導していただきたいと思ひます。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールマネジメントアドバイザーは何人おられますか。
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・1人です。学校教育課付けですが、機能性を考えて、青少年課に配置する予定です。
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・若手の新任の教員が学級担任となられる場合など、管理職等からの指導が必要になってくることもあると思ひますが、昨今はハラスメントなどの問題もあり、資質向上に向けた指導を学校だけでカバーすることが難しい場面が出てくるのではないかとと思ひます。指導等による時間外勤務などがいずれ健康被害や精神的なストレスなどにつながっていくのではないかと思ひますが、事務局においてそうしたことをフォローできる体制はありますか。
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・若手の教員の勉強機会としては、アイコネクトと言って、2カ月に1回、時間外にはなりますが、研修を実施し、横のつながりを作ることができる機会を設けています。新任の教員については、最初の式にて、教育長や学校教育課長から話をしたり、1学期の終わりに交流会を開

<p>渡邊委員</p>	<p>催したりすることで、相談できる人、話せる人を増やそうという試みはしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人はきちんと授業ができていると思っけていても、ベテランの教員から見ると問題点や改善点などもあるのではないかと思います。やはり生徒が最優先ですので、そうした部分も管理職の方が言葉を添えてしっかり指導してもらいたいと思います。
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは人事担当の指導主事だけが初任研の担当をしていたのですが、現在、指導主事は担当校制をとっており、学校訪問を行って定期的に教員に声掛けをしています。主幹からも話がありましたが、研修などを通じて育ちの場の提供をしています。指導主事には、3年間で必ず成長させて、次の学校に送り出せるようにということで、情報共有しながら人材育成にあたっているところです。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに質問はよろしいでしょうか。それでは議題3「その他」について、何かありますか。
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は大変貴重なご意見等を賜りありがとうございました。今後もしっかりと双方連携しながら教育行政のさらなる充実発展のため事業等を進めていきたいと思っけていますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。これをもちまして、令和7年度第2岩国市総合教育会議を閉会させていただきます。